

武田薬品工業株式会社 湘南ヘルスイノベーションパーク 2018年度 環境モニターアンケートの結果概要

2018年12月8日

1 騒音について

過去1年（2017年7月以降）に、湘南アイパークおよび関連施設からの騒音で気になったことがありますか。

ある：0名 ない：15名

今回、騒音が気になったとの回答はありませんでしたが、以前から一部の近隣の方からキーン、ゴーという2種の音についてご相談を受けております。これまで調査機関に委託して自主的な騒音調査を3回実施しました。その結果、研究所施設からの音が敷地境界付近に及ぼしている影響は小さいものと考えられるという結論となっております（去年ご報告済み）。

行政機関とも協議しましたが、今の所、原因を特定するための有効な手段が見つからず、有効な対処方法が見つかっておりません。今後、住民のみなさまとコミュニケーションを保ちながら原因究明につながるような事象が起こらないか、経過観察してまいります。

2 臭気について



過去1年（2017年7月以降）に、湘南アイパークおよび関連施設からの臭いで気になったことがありますか。

ある：0名 ない：15名

今後も、薬品等が漏洩して臭気が発生することがないように化学物質の取扱いに万全の注意を払います。

3-1 湘南アイパーク周辺の環境について



過去1年（2017年7月以降）、湘南アイパーク周辺の環境（含樹木・ごみ等）についてどの様に感じておられますか。

良くなった：2名 変わらない：10名
悪くなった：0名 不明、無回答：3名

ご意見	回答
北側の樹林について、フェンスよりかなり内側まで刈り込んで下さっているのので下の歩道が一年中明るくなり、安心して歩けると近隣の方に好評です。	コメントありがとうございます。 今後も植木の手入れや施設周辺の環境整備に努めます。
昨年同様に整備されていると思います。	
正門前の歩道の清掃が行き届いています。	

3-2 湘南アイパーク周辺の環境について



湘南アイパークや周辺に関して、過去1年間、ご近所で話題になったことがありますか。

ある：2名 ない：11名 無回答：2名

話題の内容	武田コメント
旧女子寮周囲の落葉の始末をもう少し頻繁にお願いしたい。	旧女子寮周辺は、ボランティア清掃の取り組みだけでなく、状況に応じて業者による清掃を実施しております。時期に応じて清掃の頻度を高める等、景観の維持に配慮いたします。
有害物質が検出されたが自然由来のものだった、という見解について。	土壌調査の結果に関して、砒素とふっ素の土壌溶出基準不適合の原因は特定できていませんが、調査機関の見解を踏まえて、いずれも自然由来の可能性を考えています。地下水のモニタリングを継続して敷地の外への影響がないことを確認していきます。

3-3 湘南アイパーク周辺の環境について



その他のご意見

ご意見	回答
<p>Open day、お祭り、見学会、桜花見会、お薬販売、ドリンク販売、グラウンド、体育館借し出し、地域に接したOpenな活動を提供して下さい。何をやっているのかBlack boxなので広く紹介し、信頼を得て下さい。</p>	<p>従来からグラウンドの貸出を行っています。また、秋祭り、桜と新緑を楽しむ散策を開催し、多くの皆さまに楽しんでいただいております。これらに加えて、今年度から、夏休み親子科学教室、西側緑地の開放等を始めました。さらに社会見学や健康教室等、今後も湘南アイパークが地域に浸透するために更に多くのイベントを企画しています。</p>
<p>2017年度環境モニターアンケートの結果を、自治会役員の方々に報告し、皆さん調査結果に納得された様子でした。周辺の草花の観察をしながら散歩コースとして楽しむ方もいますので、これからも気持ちの良い環境を保てるようお願いします。</p>	<p>今後とも湘南アイパーク周辺の美化をはじめ、安全で暮らしやすい地域づくりに貢献できるよう努めます。</p>

3 - 4 湘南アイパーク周辺の環境について



その他のご意見

ご意見	回答
周辺環境は良いと思います。朝など来訪や納入の車両が正門に複数台入門待ちをしています。専用の駐車場があると、もっと良くなると思います。	ご意見をありがとうございます。スペースの関係で、正門前に駐車場を追加で作るのは難しいため、来訪車両が多い朝に車両誘導を行っている警備担当に、敷地外に車両が滞留しないよう努めてもらいます。
大船駅から研究所まで歩く方が多く、小学生の登校時間と重なり、自転車（一般の方）も通行していて事故が心配です。	過去にも同様のご指摘をいただいたことがありますので、大船方面からの通勤時に、登校中の小学生に注意するよう、湘南アイパーク内で周知をいたしました。今後も、継続的に注意喚起を行います。
（化学物質が）土壌へ蓄積しないか、人体へ（すぐでなくても）影響しないかといった事が常に心配なので、これからも定期的に検査結果を公表して欲しい。	有害な化学物質はその性質、危険性を十分に把握して取り扱うよう研究者に教育を行っています。化学物質が含まれる可能性がある排出物は徹底して分別・回収を行い、環境への拡散を防止しています。また、今後とも環境測定を継続し、連絡会議で報告いたします。